



特集号 (第49号)

編集発行

弘前学院大学 学  
報 委員 会  
弘 広

印刷所

(有)小野印刷所

### 国際交流さらに推進

#### —ヒロガク学生、海外に飛び出すチャンス—

学長 吉岡 利忠

今回の「弘学時報」は、「特別号」として本学学生が本物の国際的感覚を身につけることを目的とした大学の国際交流についてまとめ、これを積極的に活用して欲しいために特別バージョンとして発行された新聞である。

本学学生には、この「弘学時報」を座右に置き、大いに利用し国際的な感覚を育んで欲しい。グローバルなセンスが求められる昨今、国際交流を通して語学力や国際的コミュニケーション能力のアップ、そして異文化理解を深めるなど、人間性豊かであり魅力的なヒロガクの学生

は社会に囁望される貴重な存在になる。提携関係にある大学や研究機関との相互には、留学、海外研修、語学研修生受け入れが、現在、行われている。

これまで、1987年(昭和62)年1月に米国のノースセントラル大学(イリノイ州)、2005(平成17)年4月にウイスコンシン大学ラ・クロア校(D.Hastad「デイビッド・ハスタッド」総長、ウイスコンシン州)、2008(平成20)年8月にシエナンドア大学(T.Fitzsimmons「トレイシー・フィッツシモンズ」学長、ヴァージニア州)、2012(平

成24)年3月に中国の上海華遠国際教育センター・上海外国語大学留学センターと弘前学院大学は姉妹校提携を結んでおり、今回、2012(平成24)年11月に新しく韓国の培花女子大学(金淑子学長 および釜山科学技術大学(金光泰総長職務代理)と正式な協定を結ぶことができた。それぞれの大学等には、文学部、社会福祉学部、看護学部および特徴的な学部、学科などがあり、弘前学院大学学生とは極めて自然に交流が可能となっている。

姉妹校提携間の協定内容は、学生どうしの交流および教職員間の交流が主流である。それぞれ各大学・研究所との協定内容の詳細は、協定書に記載されている。また、弘前学院大学国際交流委員会、弘前学院大学留



培花女子大学 金淑子学長(右側)



釜山科学技術大学 金光泰総長職務代理(右側)

学生取り扱い規定も定められており、その窓口は学生課である。実際の交流については、単位の互換性なども含め個々において条件等が異なることから、学生課において事前に相談する必要がある。

## 培花女子大学と釜山科学技術大学との姉妹校提携

宗教授主任 楊 尚 眞

弘前学院大学は、国際化社会において、外国の大学留学や外国留学生受け入れを通して、外国人学生と共に勉学することによって国際的な視野を広めること、両国民の友好関係と交流の促進、文化活動の一層の充実を図ることを目的として、去る11月26日に韓国培花女子大学、11月28日に釜山科学技術大学と姉妹校協定の締結に調印した。本学は以前から韓国の大学との姉妹校関係を結ぶことを希望していたが、それが実現することになり、さらに本学の国際化が一

層飛躍することになると思う。姉妹校協定を結んだ両大学は、私たち(吉岡利忠学長と楊尚眞宗教授主任)に対しても暖かく、友好的に対応してくれたことに感動を覚えた韓国訪問であった。

### 培花女子大学

培花女子大学は、首都ソウルの中心部に位置する女子大学の中心部である培花学園で、大学の前身である培花学園は、アメリカのメソジストの宣教師であったキャンベル女史によって「信仰、希望、愛のキリ

スト教精神」を建学理念として女性人材育成のために1878年に設立以来、「正直・勤勉・奉仕精神」を身に着けたグローバルな専門的女性人材の育成を目指して着実に発展、成長し、韓国の代表的な女性高等教育機関として認められているキリスト主義の大学である。培花女子大学は、韓国固有の伝統から現代の最先端技術までを学べる12学科で構成され、学生数が約2800人いる。金淑子総長の願いは、学生達には「安定や前向きな未来」を、教職員には、

### 釜山科学技術大学

釜山科学技術大学は、1977年に設立された技術系専門の大学であるが、学生数が約4000人。現在、5つの学部、21の学科があり、本学と交流できる看護学部、社会福祉学部、観光日本語通訳科がある。

釜山市の高台に位置しており、12万2839㎡の校地に10棟の建物、472の講義室、図書館、運動場、体育館、学生館、野外公演場、テニスコート、ゲストハウス等といった施設がある。そして、校内に民俗博物館があり、韓国の歴史的な生活道具や衣類などが展示してあることに趣を感じた。釜山技術大学の誇りは、卒業生の就職率が釜山で一位であり、全国で四位であることである。大学の設立者、理事長の姜基成先生は、学生達に絶えず夢をもつ人になること

を促し、大学はその夢を応援する大学にならなければならないと言われる。釜山科学技術大学は、海外の大学と機関と姉妹関係を結んでおり、国際交流活動を活発に進めている。海外の大学との画像通信講義、共同学術セミナー、海外インターンシップ支援等を行い、在学生に国際的な視野と言語能力をもたせることを推進している。金光泰総長代理は、弘前学院大学との姉妹校協定を機により一層、日本

1. 在学生の留学及び研修、卒業生の留学による交流(培花女)
  2. 現地学習を目的とした交換留学生派遣(釜山科)
  3. 教員、職員への派遣及び受け入れ
  4. 学術的資料及び教材等の交換
  5. 共同研究企画の実施
- その他、有益と考えられる諸企画の実施

# 上海莘遠国際教育サービス・センター 上海外国語大学留学センター

2012年3月に中華人民共和国の上海莘遠国際教育サービス・センターと、2012年5月に上海外国語大学留学センターと留学生受け入れのための全ての業務を委託する協定をした。アジアを含めた国際化への新たな一歩となった。



右から本学顧問良教授、載国庆局長、吉岡学長



## ■ 米国のWisconsin大学La Crosse校・North Central大学およびShenandoah大学との姉妹校提携

米国の三つの大学との国際交流とは、古い歴史を持ち、現在、以下のような多彩なプログラムが用意され、語学力や異文化理解を深め、国際感覚を磨く機会を提供しています。

ウイスコンシン州のラクロスにあるWisconsin大学 La Crosse校は、Madison校と共に、Wisconsin大学を構成しています。1学期の留学から、1年にわたる長期の留学まで可能なプログラムを用意しています。本学から留学する学生はLa Crosse校のdormitoryで、各国からの留学生と共に生活しながら勉強します。また、毎年5月にはLa Crosse校からの語学研修生を受け入れています。

Washington D.C.の近くにあるシュナンドア大学 (SU) は、バージニア州にある大きな大学です。7つの学部には、教育学部や看護学部・文学部などがあります。

参加する学生は、英語やアメリカ文化を勉強します。その他ホームステイをしたり、アメリカの歴史的な所とWashington D.C.やメリーランド州のBaltimoreまで旅行します。

イリノイ州、Chicagoの近くにあるノースセントラル大学 (NCC) では、夏休み中4週間の海外研修を行っています。NCCのESL Instituteで世界中のさまざまな国の学生と一緒に英語とアメリカの文化を学びます。NCCのプログラムで、シカゴにある博物館や文化的な施設を体験できます。

### (1) 留学: Wisconsin大学La Crosse校(ウイスコンシン州)

留学については、Wisconsin 大学 La Crosse 校では夏期プログラム(5月～8月)、秋学期(9月～12月)、春学期(1月～5月)の単独または3つまでの組み合わせで留学が可能です。留学期間も本学の在学期間とみなし、4年間での卒業が可能です。



ウイスコンシン大学ラクロス校

### (2) 海外研修: North Central大学(イリノイ州) Shenandoah大学(ヴァージニア州)

海外研修については、8月はNorth Central大学、2月はShenandoah大学で、それぞれ3週間、その大学の独自のプログラムによる英語集中研修と学外での様々な研修、また観光を通して異文化を体験することができます。この研修は、学科を問わず卒業単位として認められます。

### (3) 語学研修生受け入れ: Wisconsin大学

語学研修生受け入れは、現在、Wisconsin大学から受け入れております。研修期間は3週間で、滞在中はホームステイも体験しながら、日本語の学習のほか、日本文化に理解を深めてもらうため、華道、茶道、書道、弓道など様々なプログラムを用意しております。

また学生ボランティアを募集し、語学研修生の勉強や日常生活のサポートを行います。語学研修生の受け入れは、本学の学生にとっても、キャンパス内で異文化交流を持つよい機会となっております。



シェナンドア大学



ディビット・ハスタット総長(右側)